

第2編 基本構想

令和8(2026)年度▶▶令和 17(2035)年度



1 将来像

これからの東温市が目指す姿を示すものとして、第3次東温市総合計画における市の将来像を、次のとおり定めます。

“地の利”と“知の力”で 未来を築くまち 東温

東温市は、県都松山市に隣接する立地や交通の利便性、充実した医療体制、四季を感じられる自然環境といった“地の利”に恵まれた、暮らしやすいまちです。これらの地域資源を基盤に、市民一人ひとりが主体となり、産官学金労言士(産業界、行政、大学・研究機関、金融機関、労働団体、メディア、弁護士などの士業)や、医福食農(医療、福祉、食料・栄養、農業)などとの連携のもと、知恵や創意など“知の力”を結集することで、まちの可能性を広げていきます。

これからの10年間、東温市は“地の利”と“知の力”を生かしながら、誰もが安心して暮らし、関わり、挑戦できるまちを目指し、さらに未来へ、持続可能で心豊かな日常を引き継いでいきます。

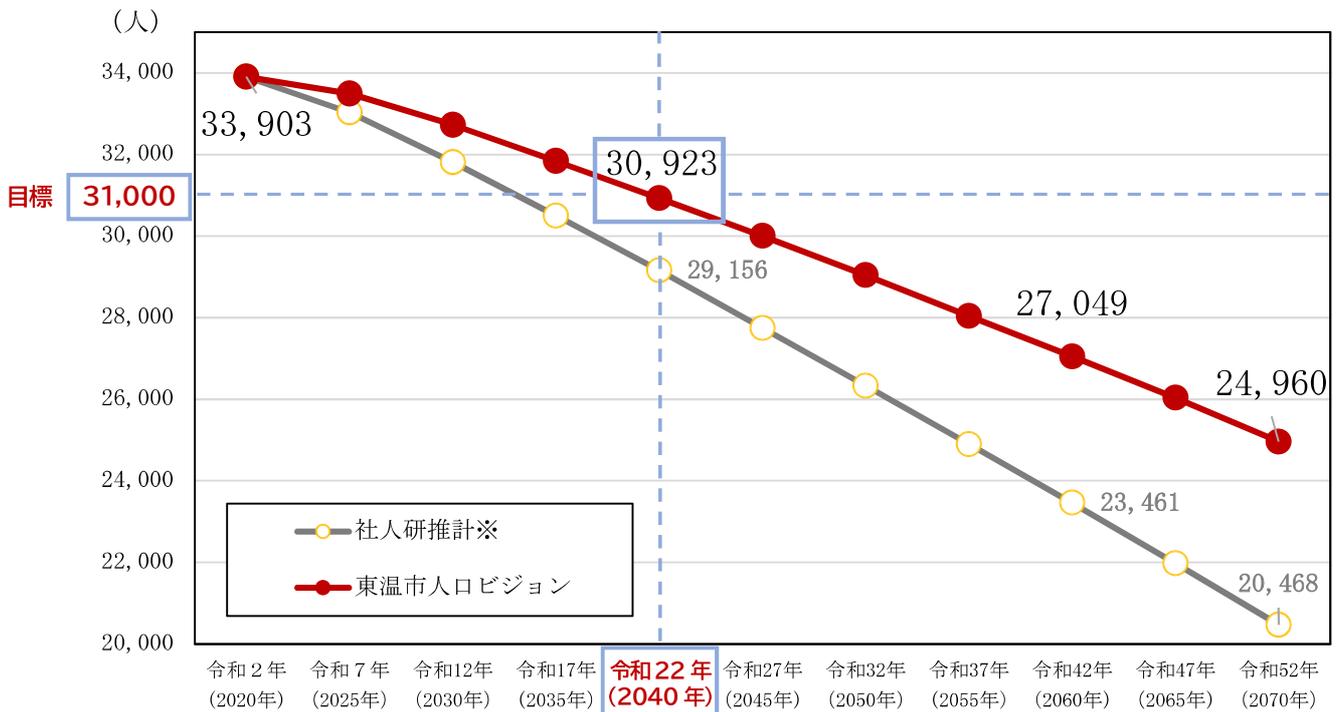


▲市内眺望(市役所から)

2 目標人口

本市における人口の現状を分析するとともに、人口に関する市民の認識を共有し、今後目指すべき人口展望を示した「東温市人口ビジョン」に基づき、次のとおり目標人口を設定します。

令和 22(2040)年の目標人口 31,000 人



※社人研推計: 令和 32(2050)年までは国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」の数値、それ以降はこれに準じて算出した数値

<人口ビジョンの推計条件>

- 合計特殊出生率 1.50 を達成し、以降継続すると想定
- 社会増減 20～30 歳代の男女が毎年3%ずつ増加すると想定

3 政策方針

1

育ちと学びを支えるまちづくり

まちづくりの根底には、未来を担う子どもたちの育ちと学びがあります。また、地域の歴史や文化を受け継ぎ、次代へとつなげるためには、誰一人取り残さず、一人ひとりの成長を支える環境づくりが不可欠です。

「育ちと学びを支えるまちづくり」では、希望に応じた結婚・妊娠・出産への支援や、切れ目ない子育て支援、学校教育の充実、青少年の健全育成に加え、生涯にわたる学習機会の充実や、文化・芸術・スポーツの振興にも取り組み、すべての世代が学びを通じて成長し続けられるまちを目指します。

子育て支援の充実

学校教育の充実

青少年の健全育成

生涯学習社会の推進

文化財の保護と文化芸術の振興

スポーツ活動の推進



2

安全・安心が守られるまちづくり

災害や事故、犯罪から市民の命と暮らしを守ることは、まちづくりに欠かせない要素です。近年の災害リスクや多様化する生活課題に対応するためには、防災・減災施設の整備のほか、消防・救急体制や地域防災力の強化、日常に潜む消費生活や交通に関するリスクへの備えが不可欠です。

「安全・安心が守られるまちづくり」では、防災・減災対策の充実、消防体制の強化、防犯・消費生活・交通安全対策の充実に取り組み、誰もが日々を安心して過ごせるまちを目指します。

防災・減災対策の充実

消防体制の強化

防犯・消費生活・交通安全対策の充実



3

誰もが健やかに暮らせるまちづくり

まちづくりの土台には、誰もが心身ともに健やかに暮らせる環境が必要です。超高齢社会の中、支え合いながら自分らしく生きることが求められています。

「誰もが健やかに暮らせるまちづくり」では、生涯を通じた健康づくり、地域福祉体制づくりの推進、高齢者・障がい者施策の充実、社会保障の充実に取り組み、すべての人がいきいきと暮らし続けられるまちを目指します。

生涯を通じた健康づくりの推進

地域福祉体制づくりの推進

高齢者・障がい者施策の充実

社会保障の充実



4

にぎわいと活力を育むまちづくり

まちに活気とにぎわいをもたらすのは、人の営みと地域の産業です。市域の多くを占める森林と農地、中山間地域の暮らしと生業^{なりわい}を大切に守り、活用するとともに、地域資源を生かして新たな魅力を創出し、地域経済の活性化に結びつける挑戦が求められています。

「にぎわいと活力を育むまちづくり」では、農林業の振興、商工業の振興、観光・物産の振興、雇用の創出に取り組み、地域に活力と希望をもたらすまちを目指します。

農林業の振興

商工業の振興

観光・物産の振興

雇用の創出



5

快適に住み続けられるまちづくり

まちが持続的に発展していくためには、快適な暮らしを支える基盤整備に加え、気候変動への対応を意識したまちづくりを進める必要があります。

「快適に住み続けられるまちづくり」では、快適な都市基盤と住環境づくり、環境施策の推進、上下水道等の整備・更新に取り組み、気候変動の影響などの変化も見据えつつ、今も未来も快適に暮らせるまちを目指します。

快適な都市基盤と住環境づくりの推進

環境施策の推進

上下水道等の整備・更新



6

心豊かにつながり合うまちづくり

まちのあたたかさは、そこに暮らす人々のつながりと、互いを思いやる心から生まれます。多様な背景や価値観を尊重し、誰もが安心して暮らし、支え合える地域社会を築くことが、これからのまちづくりには求められています。

「心豊かにつながり合うまちづくり」では、地域コミュニティの活性化をはじめ、人権尊重や男女共同参画の推進に取り組み、世代や立場を越えてつながり、ともに生きる喜びを実感できるまちを目指します。

地域コミュニティの活性化

人権尊重のまちづくりの推進

男女共同参画社会の形成



みんなで進める“オール東温”のまちづくり

まちをつくる力は、市民一人ひとりの^{おも}想いと行動にあります。人口減少や社会課題の複雑化が進む中で、持続可能なまちを実現するには、多様な主体が力を合わせ、様々な新しい技術も活用しながら、協働・共創によって課題に向き合う姿勢がこれまで以上に求められています。

「みんなで進める“オール東温”のまちづくり」では、協働・共創によるまちづくりの推進に加え、限られた資源を生かしながらか持続可能な行政運営に取り組み、ともに築き、ともに支える“オール東温”の力で、未来を切り拓く^{ひら}まちを目指します。

協働・共創によるまちづくりの推進

持続可能な行政運営の推進



人のつながりで未来を拓く^{ひら}まちづくり

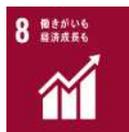
人口規模が縮小する中でも、安心して暮らし続けられるまちをつくるには、人的交流を活性化させ、様々な分野の人々の関わりを生み出し、性別や世代にかかわらず誰もが活躍できる環境を構築することが不可欠です。

「人のつながりで未来を拓く^{ひら}まちづくり」では、まちを訪れる人、関心を寄せる人、挑戦を望む人を迎え入れ、地域とのつながりを深めながら好循環を生み出し、子どもから高齢者まで誰もが安心して暮らし続けられるまちを目指します。

暮らしに寄り添う地域生活の充実

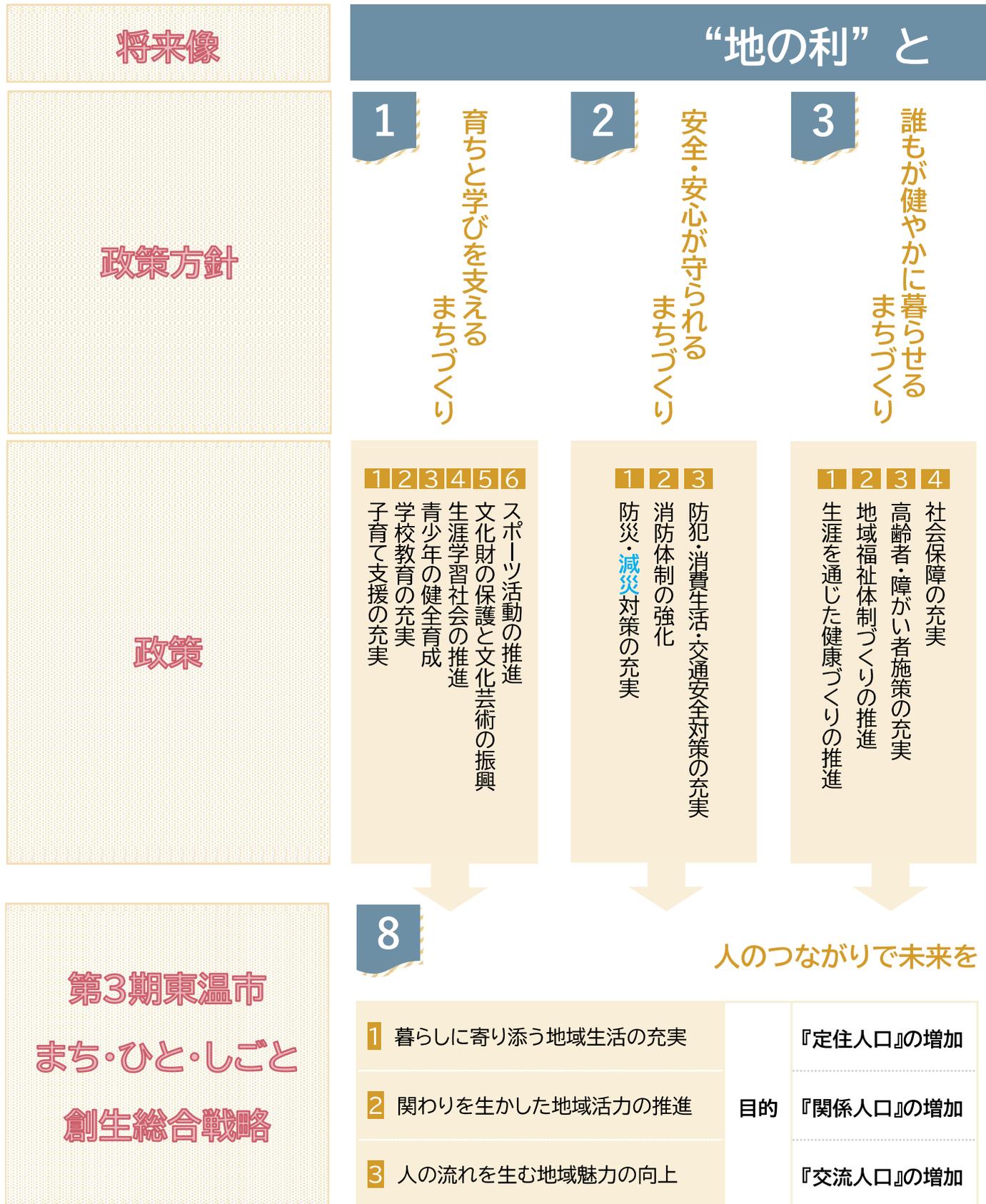
関わりを生かした地域活力の推進

人の流れを生む地域魅力の向上



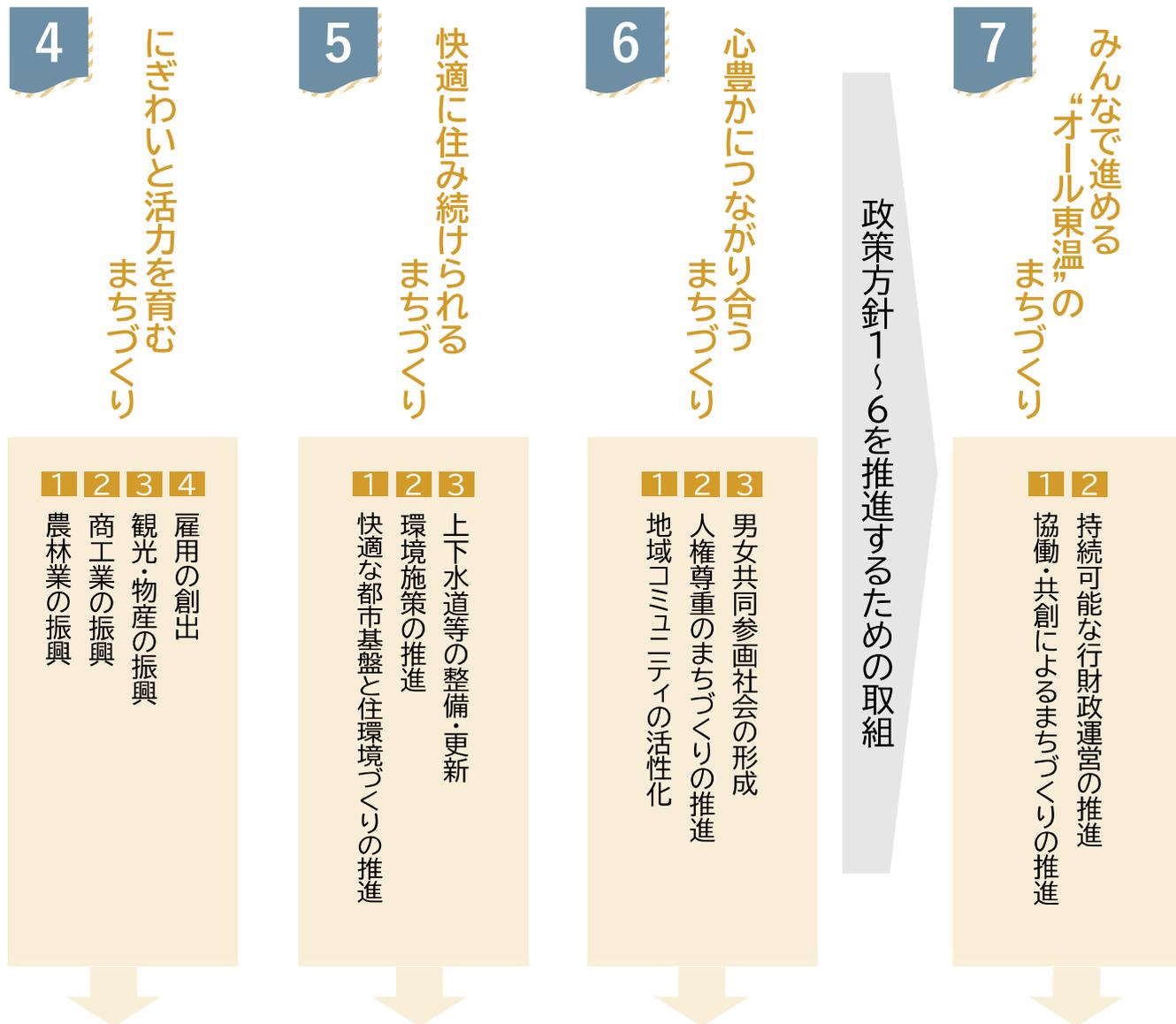
4 分野別体系

この計画は、6 項目のまちづくりの方針と、これらを推進するための分野横断的な取組に、人口減少対策や「政策方針 8」は、「第3期東温市まち・ひと・しごと創生総合戦略」と位置づけ、今後の人口減少に耐え得る



地方創生に関する取組を加えた、8 項目の「政策方針」で構成します。
 持続可能な地域社会の構築に取り組みます。

“知の力” で 未来を築くまち 東温



ひら 拓くまちづくり

東温市で「暮らし続けたい」と思える環境を整え、『定住人口』の確保・拡大につなげます。

多様な主体(『関係人口』)が関わり合うことによって地域の活力を生み出し、循環させます。

東温市を訪れる人が「また来たい」と思える地域の価値を高め、人の流れ(『交流人口』)を生み出します。

